

小学5年生

頑張る人は偉い人、頑張り抜く人は幸福な人！断じて負けるな、受験生！

充実した年間カリキュラムに基づいて学ぶ鳳雛塾の365日 志望校絶対合格の援護射撃！

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
新年度開講 2/3～	春期講習会 生徒面談 (3/26～4/5) (3月授業) ～3/24		4月開講 (4/7～)	父母面談		夏期講習会 (7/23～8/28)	後期開講 (9/1～)	父母面談	受験相談会	冬期講習会 首都圏模試 (12/26～1/10)	
	第1回月例テスト	第2回月例テスト	第3回月例テスト	第4回月例テスト	前期終了 ～7/21	第5回月例テスト	第6回月例テスト	首都圏模試	首都圏模試	12月終了 ～12/24	1月授業 (1/9～31)
								第8回月例テスト	第9回月例テスト	第10回月例テスト	第11回月例テスト

*事情により、予定を変更する場合があります。ご了承ください。

ほめます。励まします。自信をつけさせます。
現在の生徒の学力から指導します。

本格的に中学受験の勉強に取り組む時期に入りました。学習量も増え、質的にも難しくなり、学力の差がつくのも5年生からです。ここでしっかり学習する習慣を身につけ、学習スタイルを確立することが大切です。基本的な知識を定着させ、基礎をしっかりと築いていきます。「なぜ?」「どうして?」の好奇心を大事にする指導で、知る喜び・出来る喜びを体験させ、自信をつけていきます。学習に必要な国語力・読解力を養成するために、良書を読破していきます。毎回の授業では必ず読書時間を設けています。長文読解に慣れ、語彙力を増し、想像力を鍛え、創造力を養います。純真な心の持ち主であるこの時期に良書に親しむことは人格形成においても多大な影響を与えてくれるでしょう。ともあれ、基礎をしっかりと身につけ、読書が大好きな生徒になれるように応援していきます。

指導方針と学習内容

算数	・長さ・広さ・重さ・体積容積の単位といった基礎知識、そして正確に早く答えを出す計算力を養うために、毎回テストがあります。小数・分数の四則計算が中心です。ここでは小数・分数の意味をしっかりと理解し、速さ・割合・面積体積・特殊算など、生活に結びつけて考えさせていきます。問題を正確に読み取る読解力がどうしても必要になります。せつかく持っている計算力も文章の読み取りができないと発揮できません。また、図形では円・おうぎ型が加わり、複雑な問題が出ます。これらを解く力を養うためにも論理的に思考する練習、面積図・線分図、情景図を利用した練習を繰り返して行います。
国語	・国語の問題は大別すると、知っているはず得点できる知識分野と、内容読み取りの読解分野です。そのため毎回のように漢字・ことわざ・慣用句の復習テストを繰り返し、語彙力を高めていきます。時には短文を作ったり、要約文を書いたりして表現力を養成していきます。また、読解力の養成には何と言っても読書が一番です。長文を読み、慣れ親しむためにも、一人ひとりに目標を持たせて、多くの良書を読んでもらいます。読書の楽しさを体験させていきます。国語は全教科の基本ですから。
理科	・「なぜ?」「どうして?」が多く出てきます。興味を持ってぼんぼん知りがたがってきます。基本的知識をしっかりと押さえ、小5の最重要分野でもある、てこ・てんびん・ばねを徹底的に学んでいきます。各分野の基本問題を反復し、基礎固めをします。
社会	・地図帳を活用しながら、日本の地理を学習します。基本知識を身につけ、日本の様々な社会現象を歴史の中で理解できるように、また、貿易を通じて外国との関係や交通手段の変化など、楽しく学んでいきます。

中学入試突破の基礎の完成と応用力養成の受験科

時間割

特訓4科クラス 火・水・木・土曜日の週3日(週630分の授業)

* 科目別週時間数… 国語(70分×2時限) 理科(70分×2時限)
算数(70分×3時限) 社会(70分×2時限)

○火・水・木曜日	4:00～5:10	5:20～6:30	6:50～8:00
	1時限 70分	2時限 70分	3時限 70分
○土曜日	2:30～3:40	3:50～5:00	5:10～6:20

※曜日、時間については相談して決めます。
※全教科ともに毎回宿題が出されます。わかるところだけ解いてください。
※各教科ともに毎時間復習テストを実施します。合格点が取れるように努力してください。
※だいたいわかったではまだ理解されていません。「できる」まで質問させます。
※月例テストのカリキュラムに沿って授業は進められます。

鳳雛塾の小学生指導の特色

- ◇ 少人数クラス。中学受験のベテラン講師が国語力を強化しながら、基本を重視した受験対策を行います。
- ◇ わかりやすい解説→効果的な反復練習・復習→定着度の確認テスト→間違い直しと質問の学習スタイルを確立して、生徒の学習の自立を目指します。